

『もったいない』が合言葉

～おひさま共同保育園のごみゼロ宣言～

毎年出前講座でお伺いしている『おひさま共同保育園』。園舎や園庭がいつもキレイで気持ちがいい園です。秘訣を園長先生に伺うと『もったいない』を合言葉になるべくごみを出さないこと』を徹底されているとのこと。園にお邪魔して日々の様子を見せていただきました。



お食事では

園児1人1人が食べられる量を職員が把握し、食べ残しが出ないように徹底しています。全部食べた達成感、おかわりする喜びを味わえるよう1人1人に寄り添ったお食事。苦手な物やその日の体調で『少なくしてほしい』と言える環境は先生との信頼関係が築けているからこそできる食育です。

どうしても出てしまう生ごみも地域の方と連携して肥料にしているため、ごみにはしていません。



各テーブルには花を飾り気持ちの良い環境で食事をします。



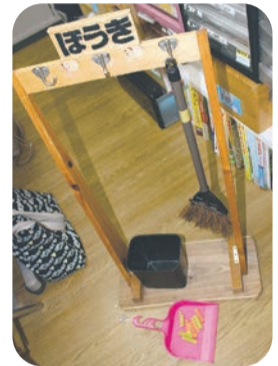
少なめの盛り付けをする器には目印をつけています。

製作では

画用紙の端切れ、折り紙の一部など最後まで使いきることを、徹底しています。



小さな端切れも色分けして保管。



掃除遊びでほうきやちりとりを使い方を覚えていきます。



端切れを利用したとは思えないくらいステキな作品。



いろいろな物が簡単に手に入る時代だからこそ『もったいない』を職員にも徹底し、ごみにする前にどんな小さい物でも教材として使えるか考えています。食事、遊び、掃除など生活する上で必要な能力を引き出すための環境作りに力を入れ『おひさま共同保育園』ならではのきめ細やかな保育をしています。

ごみに関するQ&A

市民の皆さまから多くいただくごみに関する質問をQ&A形式でまとめました。

Q1 戸別住宅のごみ袋を出す場所が「道路に接した敷地内」となっていますが、どのような場所に置けばいいでしょうか。

写真のようなイメージで置いてください。歩道や道路には置かず、敷地内に置いてください。



Q2 不用品回収を無料でやっている業者に粗大ごみを引き渡しても大丈夫でしょうか。

廃品を回収する業者について、「無料回収をうたっていたのに作業後に料金を請求された」などのトラブルが、全国で発生しています。廃品の処分を安易に業者へ依頼することは、トラブルのもとになりやすいため注意が必要です。

粗大ごみや不用品の処分は、市のルールに従って行っていただきますようお願いいたします。

Q3 動物にごみを荒らされました。どのような対策をすればいいでしょうか。

戸別住宅の場合はネットのほか、洗濯かごのようなものをかぶせていただいても大丈夫です。

袋の口をしっかりむすぶことも対策のひとつです。ご協力をお願いいたします。

Q4 近々、引っ越しを検討中です。その際、多量に出るごみはどのように処分すればいいでしょうか。

引っ越しなどでごみが多量に出る場合、まずは譲渡やリサイクルショップへ持ち込むなど、リユースをご検討ください。やむを得ずごみになってしまうものは時間的余裕をもって、計画的に排出してください。どうしても処理が間に合わない場合には、市が許可した業者に処分を依頼することができます。



あなたのアイデア・レシピ募集しています

食材の使い切りレシピや余ってしまった食材で一品レシピなどのエコ得レシピ、ごみを出さない生活の知恵、家庭でできるごみ減量アイデアを是非教えてください。

郵送先 〒194-0202 町田市下小山田町 3160 3R推進課推進係
「ごみ減量アイデア」または「エコ得レシピ」募集担当

FAX 042-797-5374

E-mail mcity2930@city.machida.tokyo.jp



ごみナクナーレの記事について、お問い合わせは

さんあーる

3R推進課

☎ 042-797-0530